

## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 **穴吹興産株式会社** 上場取引所 東  
 コード番号 8928 URL <https://www.anabuki.ne.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 穴吹 忠嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 富岡 徹也 TEL 087-822-3567  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績（2019年7月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	26,936	△12.3	2,275	△19.5	2,235	△18.9	1,334	△21.3
2019年6月期第1四半期	30,727	24.5	2,825	20.4	2,755	15.1	1,697	21.8

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 1,357百万円 (△21.2%) 2019年6月期第1四半期 1,722百万円 (20.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	250.29	—
2019年6月期第1四半期	318.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	85,569	25,970	29.7	4,762.90
2019年6月期	83,902	24,964	29.1	4,578.46

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 25,402百万円 2019年6月期 24,419百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	40.00	—	65.00	105.00
2020年6月期	—				
2020年6月期（予想）		45.00	—	65.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	0.3	6,200	1.6	5,900	1.9	3,600	6.0	674.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
除外 — 社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期1Q	5,767,800株	2019年6月期	5,767,800株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	434,326株	2019年6月期	434,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期1Q	5,333,474株	2019年6月期1Q	5,333,474株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済に対する懸念などを背景に、景気の先行きに対しては慎重さが強まってきておりますが、堅調な企業収益を背景に雇用環境等の改善が進み、景気は総じて緩やかな回復基調を続けました。

不動産業界においては、用地仕入れ価格及び建設工事費等の原価高騰による不動産価格の高額化等の懸念材料はあるものの、政府による住宅取得支援制度や低金利環境により、引き続き、消費者の購買意欲は堅調に推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは主力事業である分譲マンション事業において、更なる販売力の強化により早期完売に注力するとともに、当社グループの強みであるマーケティング力を活かし、新たな需要の掘り起こしや厳選した用地仕入れを行ってまいりました。また、それら主力事業が堅調に推移するなかにおいて、今後の新たな収益の柱を育てるべく、介護医療関連事業、小売流通関連事業、エネルギー関連事業及びその他新規事業等への投資を積極的に進めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は26,936百万円（前年同期比12.3%減）、営業利益2,275百万円（同19.5%減）、経常利益2,235百万円（同18.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,334百万円（同21.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」として表示しておりました報告セグメントの名称を、その事業内容をより明瞭にするため、「観光事業」として変更しております。

#### ① 不動産関連事業

不動産関連事業におきましては、主力である分譲マンションの販売について、当第1四半期連結累計期間における契約戸数は372戸（前年同期比25.6%減）、売上戸数は615戸（同3.6%減）となりました。契約戸数及び売上戸数の減少は、当第1四半期連結累計期間における新規販売開始マンション及び完成引渡マンションが少なかったことによるものであります。なお、通期売上予定戸数1,871戸のうち、当第1四半期連結会計期間末における未契約住戸は131戸を残すだけとなっており、引き続き堅調な状況で推移いたしました。

この結果、不動産関連事業の売上高は、19,286百万円（前年同期比13.5%減）、営業利益は1,996百万円（同20.7%減）となりました。

なお、分譲マンションにおける他社との共同事業における戸数については、当社事業割合で計算しております。

#### ② 人材サービス関連事業

人材サービス関連事業におきましては、新たなコーポレートスローガン「ひとに翼を。」を掲げ、女性の労働参加率の向上や海外人材の活用など、中四国の労働市場の現状に即した地域経済の活力の維持・向上に必要な施策の展開により、中四国での多様な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に注力いたしました。

この結果、人材サービス関連事業の売上高は1,532百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は51百万円（同11.6%減）となりました。

#### ③ 施設運営事業

施設運営事業におきましては、瀬戸内国際芸術祭等による訪日外国人数の増加に支えられ、主力であるホテル事業において、ホテルの客室稼働率の高稼働状態が持続しております。また、客室数の増加や快適性の向上等を目的として、2019年7月より「琴平パークホテル」（香川県仲多度郡）にて全館の改装工事を開始いたしました。

この結果、施設運営事業の売上高は1,558百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は62百万円（同32.1%増）となりました。

#### ④ 介護医療関連事業

介護医療関連事業におきましては、2019年9月に当事業の31施設目となるサービス付き高齢者向け住宅「アルファリビング姫路城北」（兵庫県姫路市）をオープンいたしました。

この結果、介護医療関連事業の売上高は1,264百万円（前年同期比46.6%減）、営業利益は63百万円（同64.0%減）となりました。

なお、売上高及び営業利益の減少の主な要因は、前第1四半期連結会計期間において「アルファリビング高松紺屋町」（香川県高松市）の売却を実施したことによるものであります。

## ⑤ 小売流通関連事業

小売流通関連事業におきましては、2016年9月より長崎県長崎市にて事業展開を行っているスーパーマーケット事業において、引き続き商品力、販売力及び売り場（提案力）等の改革・改善に注力し、収益体制の確立を目指しました。また、2019年7月には、旧住吉店（長崎県長崎市）跡地における分譲マンションとの複合開発の新店舗「ジョイフルサン住吉店」をグランドオープンいたしました。

この結果、小売流通関連事業の売上高は1,778百万円（前年同期比6.0%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

## ⑥ エネルギー関連事業

エネルギー関連事業におきましては、高圧一括受電により分譲マンション等へ割安な電力提供を行う電力提供事業において、当社グループ以外の分譲マンション事業者等への営業活動を強化し、サービス提供戸数及び施設の増加に注力いたしました。

この結果、エネルギー関連事業の売上高は1,056百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は95百万円（同109.8%増）となりました。

## ⑦ 観光事業

観光事業におきましては、地域に密着した事業展開に注力し、行政と連携した訪日外国人に対応した企画等にも取り組みました。

この結果、観光事業の売上高は459百万円（前年同期比26.3%増）、営業利益は6百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は60,318百万円となり、前連結会計年度末に比べ592百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,085百万円増加したことによるものであります。固定資産は25,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,074百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が808百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、85,569百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,666百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は28,683百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が3,451百万円増加したことによるものであります。固定負債は30,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に社債が591百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、59,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ660百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は25,970百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,005百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1,334百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は29.7%（前連結会計年度末は29.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月9日付「2019年6月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,276,138	9,361,708
受取手形及び売掛金	1,581,562	1,646,256
販売用不動産	14,082,286	14,348,601
仕掛販売用不動産	33,198,667	31,992,226
その他のたな卸資産	293,985	302,052
その他	2,304,271	2,677,877
貸倒引当金	△10,270	△10,029
流動資産合計	59,726,642	60,318,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,656,200	11,464,772
機械装置及び運搬具(純額)	506,846	492,462
土地	7,476,545	7,811,088
建設仮勘定	221,564	227,564
その他(純額)	637,514	650,423
有形固定資産合計	19,498,671	20,646,312
無形固定資産		
のれん	149,351	143,583
その他	373,209	377,597
無形固定資産合計	522,561	521,180
投資その他の資産		
投資有価証券	425,811	427,230
繰延税金資産	739,145	585,093
その他	3,024,611	3,105,148
貸倒引当金	△34,525	△34,252
投資その他の資産合計	4,155,042	4,083,220
固定資産合計	24,176,275	25,250,713
資産合計	83,902,918	85,569,406

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,528,880	8,798,089
短期借入金	1,752,000	5,203,000
1年内償還予定の社債	1,591,000	1,588,000
1年内返済予定の長期借入金	1,755,911	1,907,196
未払法人税等	1,015,203	704,389
賞与引当金	671,236	281,986
前受金	8,607,510	7,297,457
その他	3,177,799	2,903,503
流動負債合計	28,099,540	28,683,623
固定負債		
社債	11,014,100	11,605,700
長期借入金	16,665,562	16,082,013
退職給付に係る負債	1,010,732	1,018,659
役員退職慰労引当金	63,286	63,286
繰延税金負債	4,703	4,484
その他	2,080,284	2,141,060
固定負債合計	30,838,667	30,915,203
負債合計	58,938,207	59,598,827
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	755,794	755,794
資本剰余金	821,283	821,283
利益剰余金	23,292,335	24,276,232
自己株式	△444,929	△444,929
株主資本合計	24,424,483	25,408,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,363	△5,551
その他の包括利益累計額合計	△5,363	△5,551
非支配株主持分	545,590	567,749
純資産合計	24,964,710	25,970,578
負債純資産合計	83,902,918	85,569,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)
売上高	30,727,456	26,936,446
売上原価	24,268,325	20,926,035
売上総利益	6,459,131	6,010,411
販売費及び一般管理費	3,633,244	3,734,964
営業利益	2,825,886	2,275,446
営業外収益		
受取利息	3,863	6,782
受取配当金	7,421	5,259
補助金収入	5,000	116,998
その他	40,136	9,496
営業外収益合計	56,421	138,537
営業外費用		
支払利息	69,212	73,576
社債発行費	21,518	13,007
支払手数料	8,629	68,953
その他	27,445	23,281
営業外費用合計	126,804	178,818
経常利益	2,755,503	2,235,165
特別利益		
固定資産売却益	14,167	—
特別利益合計	14,167	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	—	20,963
特別損失合計	—	20,963
税金等調整前四半期純利益	2,769,671	2,214,201
法人税、住民税及び事業税	935,351	702,557
法人税等調整額	111,967	153,915
法人税等合計	1,047,319	856,473
四半期純利益	1,722,352	1,357,728
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,337	22,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,697,014	1,334,918

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,722,352	1,357,728
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276	△187
その他の包括利益合計	276	△187
四半期包括利益	1,722,628	1,357,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,697,290	1,334,731
非支配株主に係る四半期包括利益	25,337	22,809

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

アルファデザインスタジオ(株)は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 関連事業	人材サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	22,297,654	1,575,898	1,499,057	2,369,599	1,677,158	944,066	364,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78,397	5,794	10,042	461	1,068	9,466	2,186
計	22,376,051	1,581,692	1,509,100	2,370,061	1,678,226	953,533	366,208
セグメント利益又は損失(△)	2,518,656	58,359	47,670	175,686	△1,079	45,437	△21,147

(単位:千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	30,727,456	—	30,727,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107,417	△107,417	—
計	30,834,874	△107,417	30,727,456
セグメント利益又は損失(△)	2,823,583	2,303	2,825,886

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	不動産 関連事業	人材サービス 関連事業	施設運営 事業	介護医療 関連事業	小売流通 関連事業	エネルギー 関連事業	観光事業
売上高							
外部顧客への売上高	19,286,941	1,532,221	1,558,331	1,264,843	1,778,279	1,056,064	459,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,866	5,139	11,070	453	844	11,651	2,072
計	19,376,808	1,537,360	1,569,402	1,265,296	1,779,123	1,067,716	461,837
セグメント利益又は損失(△)	1,996,528	51,582	62,958	63,241	△1,525	95,345	6,267

(単位：千円)

	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高			
外部顧客への売上高	26,936,446	—	26,936,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	121,098	△121,098	—
計	27,057,545	△121,098	26,936,446
セグメント利益又は損失(△)	2,274,397	1,049	2,275,446

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」として表示しておりました報告セグメントの名称を、その事業内容をより明瞭にするため、「観光事業」として変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で表示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。